

身近な**危険**にご用心!

楽しい夏休みを過ごすために

絶対ダメ! 大麻は犯罪です

近年、若者へ大麻の広がりが深刻化しています。
令和6年の都内の大麻検挙人員は856名となっており、
そのうち10代・20代が約7割を占めています。
大麻を使用したきっかけは、「誘われて」が最も多くなっています。

大麻の乱用がなぜいけないのか?

- たった一度の使用でも脳や身体に悪影響を及ぼします。
一度壊れてしまった脳は、完全には戻らないと考えられており、回復にも相当の時間を要します。
- 短期的影響…記憶や認知機能の障害、運動機能の低下
- 長期的影響…記憶障害、IQや学力の低下、薬物依存
特に低年齢から大麻を使い始めると依存症になるリスクが増えます。
- 感情の起伏が激しくなり暴言や暴力をふるったり、薬物入手のための借金などで、
家族や友人との人間関係も壊れてしまいます。

こんな言葉にだまされないで!

「合法だよ」「みんなやってるよ」「一度だけなら大丈夫」「疲れが取れるよ」
SNS*やインターネット上にも、このような誤った情報があふれています。

ココが重要!

- 誘われても「No!」きっぱり断る
- ネットの誤った情報は無視
- 一度でも手を出すと検挙



警視庁ホームページでは薬物の恐ろしさについて、広報啓発映像をはじめ、詳しく掲載しています。



YouTube
警視庁公式チャンネル内の
「メトボリ」コンテンツでは、
薬物乱用防止についての
広報啓発動画を公開しております。
ぜひご覧ください。



ネットトラブルにも気をつけて

夏休みが始まると、子どもは自由時間が増えて、
インターネットを利用する時間も長くなります。
ネットは便利な反面、使い方を間違えると危険な目に
遭ってしまうこともありますので、注意が必要です。

甘い誘いに注意

- ネットでアルバイトを探していたら、「簡単高収入」「即日現金」の募集があり、
気軽に応募したら高齢者の家に行ってお金が入った封筒を受け取る「詐欺の実行犯役」
(=いわゆる「闇バイト」)だった。身分証明書を提出しており、抜け出せなくなってしまった。
- **楽しく大金を稼げるアルバイトはありません!**
いわゆる「闇バイト」は、一度応募すると、「家に行く」「家族に危害を加える」などと脅され、逮捕されるまで
やめられません。少しでも怪しいと思ったら、一人で判断せずに、信頼できる大人に相談しましょう。

その人、本当に信じていいの?

- SNS*上で親しくなった相手と「お互いの写真を交換しよう」と言われ、
写真を送ったら、アダルトサイトや出会い系サイトに勝手に投稿された。
- **SNSで知り合った人の本当の姿は、誰にもわかりません。**
どんなに仲良くなっても顔写真や裸の写真は送らないようにしましょう。悪用される危険があります。
- オンラインゲームで知り合った人と直接会ったら、脅されてわいせつな行為をされた。
- **ネット上では趣味が合う相手でも、実際に会うと危険なこともあります。**
自分だけの判断で絶対に会ってはいけません。



警視庁ホームページの「けいしちょうWeb教室」では、小中学生向けに「SNSにひそむキケン」動画を期間限定で公開しています。



保護者の方へ

夏休みは子どもたちの気も緩み、トラブルに巻き込まれやすい時期でもあります。
スマートフォン等には、ペアレンタルコントロール*の設定を、また、お子さん
がすぐに保護者に相談できる関係を作っていくことが大切です。お子さんの様子に気を配り、コミュニ
ケーションをとって見守っていきましょう。

※ペアレンタルコントロール…保護者等が子どもが持つスマートフォンやパソコンの利用方法(サイト閲覧やアプリ利用等)の管理をする機能

警視庁では相談窓口を設置
しておりますので、「困った
な」「怖いな」と思うことが
あったら、相談してください。

- ヤング・テレホン・コーナー(少年相談) …… 03-3580-4970
- 薬物・銃器ホットライン(薬物・銃器相談) …… 03-3593-7970
- 警視庁総合相談センター …………… #9110

※SNS…ソーシャルネットワーキングサービスの略で、会員登録した人同士が交流できるインターネット上のサービス。LINE・Instagram など